

※※2002年11月改訂(第2版)
※1999年5月改訂

日本標準商品分類番号
874419

貯法
室温保存
使用期限
包装に表示の使用期限内に使用すること。

抗ヒスタミン剤

承認番号	(59AM) 240
薬価収載	1984年4月
販売開始	1954年5月
再評価結果	1975年12月

アレルギン®散

ALLERGIN®

日本薬局方 マレイン酸クロルフェニラミン散

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- ※1. 本剤の成分又は類似化合物に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2. 緑内障の患者[抗コリン作用により眼内圧が上昇し、症状を悪化させるおそれがある。]
- 3. 前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者[抗コリン作用により尿の貯留をきたすおそれがある。]
- ※4. 低出生体重児・新生児[中枢神経系興奮など抗コリン作用に対する感受性が高く、痙攣など重篤な反応があらわれるおそれがある。]

【組 成 ・ 性 状】

※※1. 組 成

アレルギン散：1g 中マレイン酸クロルフェニラミン(日局)10mg含有
添加物としてトウモロコシデンプン、乳糖を含有

2. 製剤の性状

白色の粉末

【効 能 又 は 効 果】

じん麻疹、皮膚疾患に伴う瘙痒(湿疹・皮膚炎、皮膚痒症、薬疹)
アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、枯草熱、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽
血管運動性浮腫

【用 法 及 び 用 量】

dl-マレイン酸クロルフェニラミンとして、通常成人1回2～6mgを1日2～4回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使 用 上 の 注 意】

※1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 眼内圧亢進のある患者[抗コリン作用により眼内圧が上昇し、症状が増悪するおそれがある。]
- (2) 甲状腺機能亢進症の患者[抗コリン作用により症状が増悪するおそれがある。]
- (3) 狭窄性消化性潰瘍、幽門十二指腸通過障害のある患者[抗コリン作用により平滑筋の運動抑制、緊張低下がおこり、症状が増悪するおそれがある。]
- (4) 循環器系疾患のある患者[抗コリン作用による心血管系への作用により、症状が増悪するおそれがある。]
- (5) 高血圧症の患者[抗コリン作用により血管拡張が抑制され、血圧が上昇するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には**自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させない**よう十分注意すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
中枢神経抑制剤	中枢神経抑制作用が増強されるおそれがある。	いずれも中枢神経抑制作用を有する。
アルコール	精神運動障害が起こることがある。	
MAO阻害剤	本剤の作用が増強されるおそれがある。	抗コリン作用が増強されると考えられる。
※ ドロキシドパ ノルエビネフリ リン	血圧の異常上昇を起こすおそれがある。	本剤がヒスタミンによる毛細血管拡張を抑制すると考えられる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

再生不良性貧血(頻度不明)、**無顆粒球症**(頻度不明)：再生不良性貧血、無顆粒球症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過 敏 症 ^{注1)}	発疹
泌 尿 器	多尿、排尿困難
精神神経系	神経過敏、頭痛、焦躁感、複視、眠気
消 化 器	口渇、胸やけ
※ 肝 臓	肝機能障害(AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-Pの上昇等)
血 液 ^{注2)}	血小板減少

注1) 投与を中止すること。

注2) 観察を十分に行い、投与を中止すること。

5. 高齢者への投与

患者の状態を観察しながら慎重に投与すること[一般に高齢者では生理機能が低下している。]

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

※※【薬 効 薬 理】¹⁾

マレイン酸クロルフェニラミンは、H₁受容体においてヒスタミンと競合することにより、ヒスタミンの作用を阻害する。

【有効成分に関する理化学的知見】

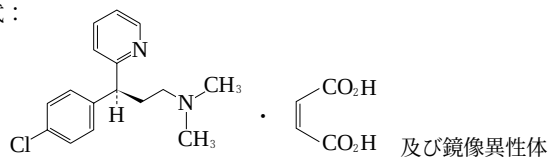
一般名：マレイン酸クロルフェニラミン (Chlorpheniramine maleate)

※※化学名：N-[(RS)-3-(4-Chlorophenyl)-3-pyridin-2-ylpropyl]-N,N-dimethylamine monomaleate

分子式：C₁₆H₁₉ClN₂・C₄H₄O₄

※※分子量：390.86

※※構造式：



※※性 状：白色の微細な結晶で、においはなく、味は苦い。
酢酸(100)に極めて溶けやすく、水、エタノール(95)又はクロロホルムに溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融 点：130～135℃

※分配係数：

pH	1.2(日局、第1液)	6.8(日局、第2液)
分配係数(log Pow)	-2.2	0.9

Pow=(オクタノール相のマレイン酸クロルフェニラミン濃度/水相のマレイン酸クロルフェニラミン濃度)

(フラスコ振とう法)

【 包 装 】
アレルギン散 100g(瓶) 500g(缶)

【主要文献】

※※1) 第十四改正日本薬局方解説書 廣川書店(2001)

【文献請求先】

三共株式会社 製品情報部カスタマーサービスセンター
〒103-8426 東京都中央区日本橋本町3-5-1



SANKYO

製造販売元

三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

電話 03(5255)7111(大代表)

2-1